

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

266-751

事務事業名	勤労青少年ホーム整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	公民館			1	10	5	4	14	3	532
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				包含する細々目							
施策	28 学習交流活動の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画条例等	飯田勤労者体育センター条例 飯田市勤労青少年ホーム条例 飯田市勤労青少年ホーム管理規則						
		事業期間	S53	年度 ~		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	利用者、勤労青少年ホーム、勤労者体育館	敷地面積(m ²)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			3880			
		勤労者体育センター利用回数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			1094			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
施設が快適に利用できるよう維持・管理を図る	勤労青少年ホーム利用者数	18目標	27458	最終目標		
		18実績	22746	19目標	22000	↑ 最終目標達成年度
	23目標		23実績			
	勤労者体育センター利用回数	18目標	51411	最終目標		
		18実績	48126	19目標	48000	↑ 最終目標達成年度
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	青少年ホームの施設整備 <参考> 細々目名:勤労青少年ホーム整備費	駐車場ライン塗り替え(221) 体育館競技用ライン塗り替え(448) 体育館水銀灯交換(91) 集会室温風暖房機取付(265) 屋外用灯油タンク設置工事(299)		1000千円
	18年度の実績			
	19年度計画	ホーム内亀裂箇所補修工事		532千円

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	1,000	532
事業費計(A)	1,000	532	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間	10	
	人件費計(B)	11	0
	トータルコストA+B	1,011	532

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	改修工事により、快適で安全な施設を提供することが可能であり、利用者にも親しまれる施設となり交流を図ることが出来る。	家族や職場以外で交流がある市民の割合	現状値	45.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	50
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
本館と第1体育館は昭和53年に建設し第2体育館は昭和60年にそれぞれ県の施設として建設し、その後市の施設へ移管した。	施設の老朽化により、体育館の床の摩耗や壁面の破損が目立ってきている。大規模な改修工事の目途がついていない段階であるので、当面は施設を現状維持のまま管理していく方向である。	利用者からの施設の改修希望の声は多い。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	施設の改築や大規模な改修工事の目途がつくまで、工事必要箇所を緊急度により効率的に改修工事を実施する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	